

二学期もいよいよ終盤となり、新生徒会もベースに乗りはじめた感がある。そこで、恒例の会長挨拶及び新役員紹介を載せてみよう。

新生徒会好調に発足

う。又、もめた高校生徒総会と中学生徒会の活躍の第一歩を一緒にお知らせする。

新会長に 菅 君

問題の続出に長びく

—高校生徒総会—

前期生徒会最後の仕事として、決算報告の生徒総会が、先月十八日に行われた。

はじめに、配られた決算報告書の訂正があり、その後質問が開始された。しかし決算報告の内容の疑問点、不審なところを質問するといふより、生徒会の失策を追求める発言に傾むいた様に思われた。それを見かねてか、高三の一生徒より、「大任を果した生徒会を次々として責めた」といふなるのした。

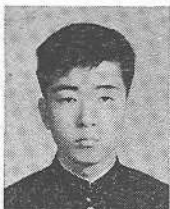
か。こんな質問なら一切切つてはとの意見が出され、動議された。しかしそれがあまりに極端だった為か、少数名同意しか得られず、質問は再び続けられた。が、これより後は、意見内容が前向きな傾向を示した事は、見逃せない事実であつた。こつて月並の質問意見が出された後、大多數の承認の下に決算報告は総会を通り、前期生徒会の任務は全く終了した。

しかし総会は、なおも続けられた。後期の会長選挙の不手際より端を発して、「グループ」この選挙方法は会前に適していないし、いふなれば、今度の会長選挙は無効になる。そしてこの方法は、そんなほめられたものでもない。」との意見が出た、一時会場は騒然となつた。「この選挙法は慣習になつてやつたもので、会前に適していないといふて無効になるべきものでなからう。」と運営会の方が

時30分から開かれ、長時間審議の末否認された。しかし、22日には第二回中央委員会及び部長会議で修正案が通り、本部も仕事を開始した。29日には会費値上げについて両会が共に開かれ、一応可決された。しかし、値上げの継続問題で双方の意見が食い違い、その為ら登弁され、結局、今回の会長選挙は有効となった。しかし、生徒は選挙法だけでなく、会則自体も不適当で、いづれ、全別立生徒会開会も、総会に對しての見通

三つの方針

菅生徒会長(高)



らせるつもりで
す。第一号はハン
ドボール大会に関
する要項として体
育委員を通じて各
クラスに一枚しか

接戦のやっています。この生徒会の方針末、菅・楳は、立会演説で述べた通り、生徒田・秋道の会報発行、監査委員強化、クリスマスを盛大にの三つです。

三人が後期の役員に選

第二に会報発行。これは、生徒会を真に生徒全員のものとする為に行ふのであり、皆さんに徹底

第三に監査委員強化。本来監査委員会は我々役員から独立してい

最後、一言。議長の態度及び、議事進行にはかなりの問題があった。たゞだ。が、議長を責めるよりは成功です。

第三にクリスマス、クリスマスは後期最大の学校行事であるもののは六時に近かった。そして終った。会報が決定した。そして終わった。とにかく生徒にも生徒会にも両方に非があったという結論におちつく。今後の生徒会の発展のため、両者の反省はきくと大きな役割を果たさなくてはならないと思う。

方針はこの三つですが、他にも色々な事をやるつもりですし、又

會員諸君の協力を求む

田口生徒会長(中)

今年は前年延長の爲、例年の
十五日程遅れて後期の生徒会が
発足しました。そして前期生徒
会の会費、如何に運営し、向
上発展させたかという重大責任
を自覚して、われわれが今後成
さんとする方法で行われ、会長
、副会長、各一名副議長、二名
が選任されることゝ信ずるところ
を、述べられ、その後会長に指
命された新幹線で貰います。

義的に走の
過ぎ、現在の生徒会の段階を二階
に二段も三段も引きあげようとし
て、却ってその間にギャップを生
じてしまったと言えないこともな
いと思います。また一面に於いて



誰しも大きな責
上に立たされて、こ

を向上発展せしめる任務と真剣に
取り組めば、当然立派な目標を掲
げて、理想主義的傾向に走ること
は避けられないでしょう。また、
それが正しいこと信じられるも
上には立たされて、これ
走ることこそを、一方において
避けると共に、会員諸君にも、生
徒会並びに、役員との間の距離を
接近して理解する態度をとって頂
くことを要望します。その上で、
これは常に会員全体の問題である

生徒会という組織はあく迄会則というルールの上に運営されているものです。それは決して役員のためだけのものでなく、会員全体のためのものです。ともすれば、関心が薄く、うんざりしているところがあります。

る。これは直ちに着手する。われわれ生徒会員全体の手で育てあげてゆく温かい気持ちで、右の三項目に、どうか宜しく協力して下さい。これを会員諸君にお願ひします。自分等の力で結成される生徒会です。各里中、各二番を置

1C	岩井慎二	安富源
2A	岩波良知	上原周
2B	鈴木 学	石井敬三
2C	長岡一昭	守野正隆
3A	小泉文明	田辺 博
3B	松代博通	藤田基主
3C	奥丑 健	福井 喜

その社会を維持し、発展させてくのである。▼よりよき世界を築く為に、個々が自覚し、向上努力しようとするフアイトこそ、ニーフロンティア・スピリットであり、現在の若者に、特に各星

軌道に乗る

中学生徒会

新生徒会が生徒の期待のもとに
発足してから三週間余りたった。
そこで、今までの生徒会の様子
を振り返ってみよう。

合同協議会が12月1日に行なわ
れ、その結果継続することに決ま
った。又、29日には中央委員会
が会則改正が協議されて総会にかけ

役 員 紹 介

前期生徒会も漸くその任期を完了して、新生徒会にバトンを渡すべく選挙が行われた。そして新生徒会では高校に管、中学に田口の両会長が選ばれ、各クラスの委員の顔ぶれもみんな出揃った。また、今期の役員には、無任執行委員とか、クリスマス特別委員といった新しいポストができてその成果が期待される。

伊吹憲彦	1 C	田中達也	2 C	松本俊介	2 B	森洋一	2 C	平杉鑑昭	2 B	堀江健介	2 A	長谷川準	2 A	石井守男	2 B	北山修	2 B	山口純也	2 C	林弘太郎	2 C	佐野格	2 A	大山多景石	1 B	協	2 A	稻本俊	2 A	栗山正降	3 A	河原林桂一	郎 C	2 A	源田善郎	2 A	松本俊介	2 B	長谷川準	2 A	秋道智弥	2 C	塩田俊明	2 A	菅宏	2 B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
印刷局		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		風紀委員長		副		保健體育委員長		副		無任執行委員		文化部長		副		體育部長		印刷局長		書記局長		會計委員長		副		文化委員長		副		

文化委員 山根広一 3
黒沢 勝 3 B 小原章彦 3 A
伊奈野義文 2 A 鶴岡康東 2 2
宇阪浩男 2 C 高野清弘 1
渡辺一弘 1 B 新井 泉 1 D
天木直人 1 D

二、会員相互の自発的な意見を生徒会の向上発展のために取上げ、意見を、出来るだけ多くつくる。これがために常に話し合ひの場を求める。例えば、各クラス単位にまとめられた意見がある場合生徒会役員は、いつでも出向いて行ってディスカッション(討論)する。そしてそれが全体にとりあげられることがよいと認められた時は、生徒会にて取りまとめ、会員全体に何等かの方法で、検討して貰うようにする。そして、生徒会に総意

風紀委員長	田辺博	3	
体育委員長	奥田健	3	
その他	岩城雅邦	3	
	麻田達郎	2	
	山崎信洋	1	
議長	鶴津格	3	
副議長	高城寛志	3	
	塚本啓介	3	
監査局員			
干田衛	3A	西村真人	3
鈴木彰	3B	矢野邦夫	2
豊田勇造	2B		
総務局員			
吉沢潔	3A	山本洋一	3
加地明	3C	滝川華夫	2
野ノ内達雄	1A		
中央委員			
1A 川勝信介		田中重	
1B 淵田吉男		大友良	
1C 入江康夫		森川茂	
2A 小笹豊		北条俊彦	
2B 高木知敬		吉田昭	
2C 段野貴一郎		松下通	
3A 矢野一郎		中村正	

A へ思つ。特に洛星ではその傾向が著しい。即ち新しい世界を自分で切り開くといつてアイトが。ケデイ大統領の新任の演説に次のような意味の主張があつた。「諸国家が諸君に何を求めるかでない。はたして洛星の今の生徒の精神を持てているものが何であるか。いい大学に入らなければ洛星の生徒の夢でもあれば小利巧すぎて余りにも情けなげな有名大学に入るの、結構なことである。然し、大学に学ばうとする真の目的は何であらうか。圖書の学歴の欄に○○大学卒と書だけの為てに大学を自指すものがあるのではないらうか。それ自体悪いことといわない。然し、大学教育を受けるという事は、高い教養と専門分野を身につけて自己完成を目標とし、この教養を土台としてより立派な、住みよ

クリスマス特別委員

山口純也 2 C 北山 修 2
源田善朗 2 B 西脇 裕 2
松本俊介 2 B 河原林桂一郎
會計委員 菅沼一典 3
村上与世夫 3 B 加藤新吾 3
奥村新一 2 A 西村直卓 2
奥島良介 2 C 中野新之裕 1
山根恒美 1 B 杉本孝義 1
木原正義 1 D

風紀委員 北村章一 3
高木 基 3 A 岡本伸一 3
中川義之 3 B 福田善弘 3
重松利彦 3 C 岩本 茂 2
野淵祐三 2 B 神山俊夫 2
西田憲司 1 A 小林俊雄 1
土野道雄 1 C 日下幸一 1

評議委員選挙管理委員は前期 とのり	沼田啓孝ⅠD	黒田佳男ⅠB	山本俊明ⅡC	吉岡元治ⅡA	猪木武徳ⅢB	体育委員
監査委員	富田和男Ⅱ	土橋 憲Ⅰ	下出真法Ⅰ	菊池敏彦Ⅱ	村上清孝Ⅲ	戸田正夫Ⅲ
野瀬直樹ⅠC	汐谷隆志Ⅰ					
田中利彦ⅠC	岡田泰弘Ⅰ					
中学生徒会						
会 長	田口幸広Ⅲ					
副会長	一色義和Ⅱ					
監査委員						
監査局長 小佐 徹Ⅲ						
総務局長 周 民夫Ⅲ						

▼ケネディ大統領
一月二十二日に暗殺
れたニュースは全
の人々に強いシ
であった。彼は若
決断力に富む勇氣
の
A B C A C A B C A

笠衣

一月二十二日に暗殺されたニュースは全米の人々に強いショックであった。彼は若き

役員も決定し、ここに生徒会役員の全員が無事就任することになつて、一段と結束を固めて、会員諸君の爲めに、大馬の力をやることには、「生徒会は会員から浮いた存在」とすると共に、力一ぱい活発に活動しようといふことがありましう。これは一面に於て、生徒会を

と、或は會員各自が、生徒会について、夫々に感じたこと、考えたことを、意見として發表して貰えるように、誘導して、それを総意の上に組立て、行くという点についての考慮が足りなかったのでは

のでなければならぬ。生命活動の中心として、
 ように引きつってゆくこと、決意を
 固めることにあります。また、
 総意を取り入れることに気配り
 過ぎれば、ともすれば妥協的にな
 り、向上発展に少す指導性を失
 って行く傾向をたどらぬとも言
 えます。

以上のような誤で、まず第一の
 段階として次の三項目を取り上

いわば、生徒会の骨組となるものですから、相互の理解を深め、立派に運営されて行くために、絶対に大切なことと思われますので、各役員、部会を通じて説明会を催すことを考慮しま

くものの誇りと伝統を築きあげてゆくものです。

先輩諸兄のためにも、これから後、幾年も幾年も続く後輩のために、大いに奮気しようではありませんか。

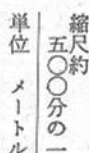
選挙管理委員

浜 正孝 1 A	竹内義博 1 B
村京平夫 1 C	西村彰文 2 A
長谷川太一 2 B	藤田真一 2 C
塩見博三 3 A	田中治美 3 B
天谷和雄 3 C	

學ぶ我々に一番必要なものがある。この精神なくして何の爲に勉學といいたい。ケネディの死彼の理想主義の正しき偉大さを認めると共に人としての眞の生き方を同時に教えてくれた。彼の遺書を無駄にすまい。

新校舍設計圖

二階
一階



いってしまふのである。さて、
て建物の中を見るときに、こゝろを
も地学・社会の選択教室が目につ
く、これは学校で初めての階級教
室で九十人が収容できるすばら
いものである。

次に理科の三教室を見ると、中
は今の化学教室のように全タイル
張りである。面積も広くなり、
しかも今のように縦に長いのでは
なく横に長くなるので、授業中十
く監督がきくそうである。そして
各机には水道、ガス、電気が全てそ
ろって、また準備室と教室と両方
から出入りできる引き出しがあ
り、等非常に便利になる。その他に
は生物室の附属として新しく温室
ができて生物の授業に一役かう。
このように新館にはいたれりつく
せりの設備がほどこしてあり、室
成が待たれるわけである。

— 審 查 講 評 —

演劇コンクール

奥本先生——

忙しかった文化祭が終つては
つと二息ついた処で、文化祭閉会
式の講評では時間がなくて述べら
れなかつた事例を、この欄を借り
て少し述べて見たいと思つた。

中間考査が終つてから、体育祭
の準備の合間を縫つて、生徒諸君
が連日夜まで頑張つて、演出に、
演技に、装置に、効果に夫々の担
當する所で責任を集し、協力して
兎も角もあれまで仕上げた事は、
監督指導に当られた先生方の御苦
勞と共に高く評価されるべきであ
ると思つた。演劇といふものが、こ
れら多くの要素が組み合わせられ
て統一されてステージの上に一
つの花を咲かせるものである事を
考えれば、関係した生徒一人一
人、殊に表には出ないために花々
しきものを、上演を成功させ
るものではないかと思つた。

「舟眼」は、難解な主題をもつた
脚本を演出して、かなりの成果を
あげていたと思つし、中一の「た
ねもみのつた」も、低学年なり
に、ある程度までつめていたように
思つた。高Ⅱの場合もそうだが、高
Ⅰの「嵐」でも、人間の感情の動
き、心理の変化を取り扱ったもの
は、綿密な演出と、すぐれた演技
によって、始めて的確に表わされ
るものであつて、この意味でも、
脚本の内容の充分な理解が望まれ
るのである。高Ⅱの「嵐帝山の人々」
は、登場人物の数を、原本より
ふやして舞台をせまく使い、か
えて結果をわるくしているの
で、やはりこの意味でもう一段の
研究がほしかつたし、中Ⅱの「村
人の保守党」や、中Ⅲの「なしく
われ」では、特に演出に脚本の内容
が与えられたことによつて、よし

全体の雰囲気は損なつてしまつと
いう事もきけられるにちがひな
い。

脚本の選択も、以上述べた事を
考慮して行なうべきものだと思
う。いたすらにむづかしいものを
やるにしても、もしそれが理解
できるもの、消化できるものでな
ければ、決して上演を成功させる
ことはできない。ただ文化祭に演
劇がある、コンクール形式になつ
ていて、賞がでる、というふうな
事だけでもし脚本を選び、演劇
を上演するという事があつたすれ
ば、それは本末顛倒であらう。賞
は、皆が努力して、ある所で成
功させたその労苦に対して出され
る二次的なものであつて、それが
演劇の目的ではない筈だから。賞
が与えられることによつて、よし

かも知れないが、今後の学園の演
劇活動に何らかの参考にしていた
だけなら幸いと思つた。最後に、

演技賞は与えられなかったが、審
査の席上、候補としてあげられた
諸君の名前を記して、その労をねぎ
らいたいと思つた。

高Ⅲ「舟眼」(紀州)橘正芳
(巡查)塚本章雄

高Ⅱ「嵐帝山の人々」
(シン仙人)田中康雄
(ヌー仙人)中田稔

高Ⅰ「嵐」(荒巨)汐谷隆志
中Ⅲ「村の保守党」
(お畑婆さん)杉本隆

中Ⅱ「なしくわれ」
(商人乙)松岡一祥

中Ⅰ「たねもみのつた」
(リムウカ)島田逸人
(手古窓)安盛善

合唱コンクール

— 小笠原先生 —

本校のよきな男子のみの学校では、キャストの点でも脚本の選択が可成り困難である。従つて、技術的、専門的な方法を講ずるなら、大なり小なり種々の文句のけし場所があるところと思ふけれども、以上の様な制約や困難を考へるならば、全体として可成りの水準に達していると言つて差支えなからう。

たゞ全体を擬して見て、ちよつと氣になるのは、脚本の内容の消化がもう二つ浅いのではないかとと思われる点である。何もセリフを覚え、演技をするキャストに限つた事ではない。効果を覺持つものも、装置を担当するものも、みんながステージの上に演出しようとする脚本を、徹底的に理解し、その分のものでこそ、始めて観

文化祭に合唱コンクールを催す様になつて、今回で六年目、年々盛大になり、初回の幼稚さを感じず、雲泥の差である。選曲表現、すべての面において、向上している事は間違いない。この事は、諸君の情熱を以て証明出来る。

今回程、早くから練習準備を進めた年はなからう。しかし、平均して近年のレベルより、進歩していたとはいへなかつた事は残念。だが問題は結果よりその経過にあると思う。諸君の情熱を打ち込む時こそ、最も美しい、何よりも得難い、尊いものである。勿論、やるからには、誰しも、優勝し、入賞する事を望む。大いなる犠牲、協力、和、人一倍の努力があつてこそ、優勝、及び入賞が勝ち得られる。今回好評であつたのは、中か、等々、この選曲に負つてゐる学部の部では、中一A、二B、三A、三B、三Cである。接戦の結果、優勝は、中三B、準優勝一A、三位三Cと決定した。高校の部では、優勝高三C、準優勝二A、三位三Bと決定した。いいち各クラスの批評をするとか数面をついやし、紙面の都合もあるもので今回は略す。全体的な面から見ると、中には、生徒達で良く二つ違ひも出来たものと感心する程の素人離れのしたデリケートなニュアンスを表現したり、作品を良く研究して作曲者に忠実な表現をしようと作する努力が、ひしひしと我々の心を打った。

成功、不成功はやはの選曲にもあると思う。その曲がクラスに適しているか、又充分表現出来るかどうか、短時間で全員の見せたいところが多い。音楽はやはどの何かを我々の心にあたえなければ駄目で、只歌うだけでは、音楽とは云えない。大半は、ニュアンスに良く氣を使つていたが、言葉に無神経なのは、見のがせない。もっともつと、意味から来るフレーズ、母音、抑揚等に注意をして、美しい合唱をしで欲しいものだ。

とにかく練習に日数をかけたにしては、本回のコンクールは、決して満足とは云えない。

この二、三年間のテーマを聞いて反省してみたが、平均して前回の方が上手だ。これは、練習方法の問題があるのではなからうか。

指揮者の指示を、全員が一言も聞き逃さず真剣に歌つてゐたらうか、何人が楽譜にヌメしてゐるだらうか、短時間でも全員の重

新聞記者というもの

(その二)

新聞記者の仕事といふものは、結局は新聞記者になる以外仕方なく生まつてゐる特殊な人間の仕事ではないかと思われる。その意味では大新聞記者は例外なく天才である。

ここて生まつた新聞記者とそうでないものがはきり区別される。前者は肉体で取材するように、後者は頭脳で取材するように。

新聞記者は「時間の英雄である」といつた人がある。若い新聞記者と語っていると、確かに短い時間の英雄であると思われる。

「今日はトップ記事を書きま

毎年、大学を出た青年たちが新聞社にはいってくる。一年か二年はいいが、五年六年になると彼等の間にははっきりと区別

併し、結局、大新聞記者になした。」と彼は言つた。こうしるものは、常に肉體で取材する人間である。取材といふことが、彼の生理の一部となつてゐる。四六時中ニュースが彼の頭から離れず、火事だといへば、足がいきなりその方向に向く人間である。

夕刊が出ると、他の新しい英雄が生まれてくる。誰も彼を英雄とは遇しない、彼が英雄

新聞の読み

新聞記者というもの

(その二)

大學出の若い新聞記者の何人かは、こうした本當の新聞記者になるだろうが、他の多くのものは、本當の意味での新聞記者にならなから落伍する。落伍するといふよりも、もとより新聞記者になる素質をもっていないのである。朝新聞社に出勤して新聞記者になり、夕方新聞社から退社して、平凡な家庭人になる。新聞社にいる間だけは新聞記者であるような人間は、もちろん本當の新聞記者とは言えない。

であつたことを覚えてゐる。そして彼自身も、自分を英雄であつたと認めることはむづかしい。彼の輝かしい仕事を記録している朝刊は、もはや雄もかきつゝみない古新聞紙に過ぎないからである。彼はまた新しく自分を英雄にするために、受持のボストに急がなければならぬ。

誰でもいい。一生新聞社で飯を食つた中年以上の新聞記者に聞いてみるがいい。彼等はほとんど例外なしに答へたやつだ。

新
 がついて来る。そのための極く
 少数のものが、本来の意味で新
 聞記者の仕事の上につかりと
 あくらをかく。自分でも、自分
 が新聞記者になる以外仕方な
 い人間であり、本当に新聞記者
 の仕事を續くと思ふ人間であ
 ることを知る。そして他の多く
 の青年たちは、それぞれ懷疑と
 不平をもつてくる。自分ももっ
 と他の仕事を期待して新聞記者
 として、頭脳で記事を書くといっ
 ことを言つたが、もちろん頭脳
 先には体で記事を書くことに對
 して、頭脳で記事を書くといつ
 ても一度生まれたら、おれ
 はやはり新聞記者にならなう
 な。
 処生の方法としてみると、他
 の職業にくらべて新聞記者職業
 は今までのところでは恵まれた
 ものとはいへない。恵まれてい
 る者はごく少数である。にも拘
 わらず、新聞記者になるという
 ことは、彼等がやはり生まれつ
 きの新聞記者であるからであろ
 うか。
 (終わり)

さによって、成功、不成功が決まる。パート練習も最も大切なもの、練習中を時々見た事がある。他のパートの練習の時の態度が熱心出来ない。他のパートも完（あ）らぬ面を、おぼえて（こ）る。この合唱となろう。今後の課題として欲しい。苦しみながら、楽しみながらやる合唱も、ほ（た）たして欲しい。

かに強いものか分る。我を通さず、協力する精神こそ人間の最も大切なものと思う。この合唱の練習が人間形成に非常に有意義であった事をうれしく思うと同時に、今後共、すべての面に、諸君の若い情熱を燃やして向って欲しい。

▼文化祭関係の記事は「ふささ……」と思ったので、奥本先生、小笠原先生の評のみにあづけていた。

▼長い間連載して来た「新聞の音」も、本回を最終にして、来号からは、又新しい連載ものを取り上げたと思う。もし希望

編集後記

編集後記

話には愛着が高三の革島君は、中年の時、指揮をして以来、連年賞と云ふ輝かしい記録を作つては並大抵の事ではない。これが良かつたと思つし、やばい、明哲な上云ふ事が、

▼「声」この欄が序々に充実してきた事が、当局の編集方針を確かなものとし、編集者として非常に仕事がかかり易くなつて、喜んでゐる次第である。今後とも、この「声」の欄を通して、自分の意見、苦衷、不安等を自由に発表せよ。

があらば、当局までどうして申出される事を望む。

▼新館建設の設計図及び、その内容を書くにあたり、色々協力下さった先生方に紙上をかきとおれを申し上げます。